

棚田清流の会



中須北地区の景観

中須北地区は、山口県周南市の中心市街地から 20km 北東に位置し、標高 300mの中山間盆地にある。地区内の5集落はすり鉢状の棚田で結ばれ、生産と自然に調和した美しい景観が見られる。特に、秋には一帯で「はぜかけ（稲架掛け）」が行われ、昔ながらの稲刈り風景が見られる。



山口県周南市



棚田清流の会の
マスコット
「たまちゃん」

この美しい景観を守るため、平成 13 年に「棚田清流の会」を結成し、地区住民が協力して農業体験交流会や棚田オーナー制度などの保全活動に取り組んでいる。

農業体験交流会では、地区外から親子連れを招き、田植えや稲刈りのほか、野菜やソバ等の植え付けや収穫など様々な農業体験が行われている。

【景観の保全】

棚田清流の会の結成前は5集落の田んぼの約3割が休耕田となっていたが、休耕田の活用や川の清掃、草刈り等の共同作業によって、今では1割程度に減り美しい棚田の景観が保全されている。ブランド米「泣かす米」の栽培や、休耕田を活用して栽培した餅米を「棚田餅」として販売、野菜を加工所「里のはな」や、農家レストラン「たまちゃん」で活用するなど、地域の発展に向けた取り組みも行っている。

この取り組みが評価され、「第6回 美の里（びのさと）づくりコンクール」（平成 22 年度）において農林水産大臣賞を受賞、令和4年には「つなぐ棚田遺産」に認定された。

令和5年から棚田サポーターズクラブを立ち上げ、地区外の人にも保全活動に参加してもらえる体制を構築している。

【保健休養】

四季折々の美しい景観を見るため、地区外から多くの人が訪れるようになり、毎年棚田フォトコンテストも開催しており、地区内の高台（通称かんぬき山）に、来訪者用に駐車場・トイレ・東屋を整備するなど、交流拠点づくりに取り組んでいる。



泣かす米



棚田餅



農家レストラン「たまちゃん」



夏の景観



秋の景観（はぜかけ）